

「議会活性化シンポジウム」のご案内

～地方議会が「討論のヒロバ」となるためには～

人口減少、財政難に直面する自治体では、「議会」の重要性が増しています。議員同士が討議し、議会として意思を示すことで、直面している自治体の課題解決の力となります。しかし、議会は自己改革が停滞し、課題は未解決のまま多くが残された部分もあります。そこで、今年の4月～6月にNPO 法人公共政策研究所が、沖縄県 42、兵庫県 42、北海道 180の自治体議会を対象に実施した『自治体議会を活性化するための環境整備に関する調査』の結果において、あらためて、自治体議会が直面している課題が浮き彫りになりました。北海道自治体学会条例・議会研究会とNPO 法人公共政策研究所が主催する本シンポジウムでは、この調査結果を基に、議会の抱える問題、その解決のために議会や住民が何をなすべきかを論じながら、来場者の皆様とともに、これからの議会のあり方を考える機会とします。

◆開催概要◆

- 日時：平成28年11月5日(土) 13:30～17:30
- 会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟) W102
(札幌市北区北9条西7丁目) ※地図裏面参照
- プログラム：
 - 13:30～ 開会
 - 13:30～13:35 主催者挨拶
 - 13:35～14:05 **基調講演**
「議会改革10年の回顧と展望」神原 勝(北海道大学名誉教授)
 - 14:10～15:20 **基調報告**
「沖縄県・兵庫県・北海道の自治体議会の現状
～アンケート調査から見る3道県自治体議会の課題～」
北海道自治体学会員 NPO 法人 公共政策研究所 理事長 水澤 雅貴
 - 15:30～17:25 **パネルディスカッション**
テーマ：「地方議会が「討論のヒロバ」となるためには」
 - パネリスト(敬称略)
神原 勝(北海道大学名誉教授)
松山 哲男(登別市議会議員)
渡辺 三省(北海道自治体学会会員・札幌市職員)
西科 純(北海道自治体学会会員・前芽室町議会事務局長)
 - 司会 水澤 雅貴
- 主催：NPO 法人 公共政策研究所・北海道自治体学会条例議会研究会
後援：北海道町村議会議長会・公益社団法人北海道地方自治研究所・北海道自治体学会
- お申込み及びお問合せ：参加費は無料。会場準備の都合上、11月4日(金)までに下記あてにFAX・メールでお申込みください。
※お申込みの際には「①氏名②職業③連絡先」をお知らせください。
お申込み及びお問合せ先 水澤雅貴(NPO 法人公共政策研究所)
メール：mizusawa@koukyou-seisaku.com 電話・FAX：011-836-4315
※駐車場がございませんので公共交通機関をご利用ください。

